

六環協ニュース

第8集 改訂2

2017年3月～2018年3月

第52号:2017年 3月31日発行

第53号:2017年 5月31日発行

第54号:2017年 7月31日発行

第55号:2017年 9月30日発行

第56号:2017年 11月30日発行

第57号:2018年 1月31日発行

第57号:2018年 3月31日発行



六甲山環境整備協議会
(事務局 六甲山を活用する会)

【4月～5月の環境整備活動の予定】

■4月は定例整備と臨時活動1・2の3回を予定

4月は16日(日)に「まちっ子の森デー」で定例整備活動、5日(水)と26日(水)は臨時環境整備の計3回実施します。春の樹木の花が咲く頃ですので、まちっ子の森の見学などをフォローしながら、アセビ伐採調査を行います。

■5月は定例整備と臨時活動3・4の3回を予定

5月は21日(日)に「まちっ子の森デー」で定例整備活動、10日(水)と31日(水)は臨時環境整備の計3回実施します。樹木の初夏の花も見頃になる頃で、まちっ子の森の見学などをフォローしながら、一連のアセビ伐採調査を行います。

【4月～5月の活動予定】

■4月15日(土)に第129回市民セミナー

「再び、六甲山の景観計画を考える」を開催します。県立人と自然の博物館・館長の中瀬勲さんに、六甲山の景観マネジメントのあり方などをお話いただきます。午前中は六甲山の花も楽しめます。



中瀬 勲さん

■4月16日(日)は、今期より第3日曜日を「まちっ子の森デー」に模様替えして、さまざまな行事を併せて実施する試みの第1回目です。定例の環境整備活動、森の見学や自然体験、家族向け・シニア向けの「家族でぶらっと六甲散歩」のガイドなど、来訪者の要望にお応えします。「まちっ子の森」をご利用されたい方は事務局へお問い合わせください。

■5月21日(日)は、第2回目の「まちっ子の森デー」です。六甲山の初夏の花を楽しめる絶好のシーズンです。「まちっ子の森」での自然体験や、「散歩道」の散策など、さまざまなご希望に対応できる準備をします。

【2月～3月の環境整備活動】

■2月は定例整備と臨時活動20・21の3回を実施

2月は19日(日)に定例整備活動&自然体験4名、臨時環境整備は1日(水)4名と22日(水)4名の計3回実施。まちっ子の森の見学コースを整備し、アセビ伐採も進めました。冬のパークレンジャーで六甲山小学校に保管していた道具も搬出しました。



アセビの伐採

■3月は定例整備と臨時活動22・23の3回を実施

3月は19日(日)に定例整備活動&自然体験2名、臨時環境整備は1日(水)4名と22日(水)5名の計3回実施しました。まちっ子の森の見学コースを整備し、アセビ伐採調査の追跡として調査区一帯でアセビ切り株の萌芽調査にも着手しました。

【2月～3月の活動】

■2月5日に冬の子どもパークレンジャーを開催しました

2月5日(日)に2017年冬の「六甲山子どもパークレンジャー」を目指そう!を開催しました。朝は雨天で4℃、天候の回復を見込んで決行しました。初参加の10家族28名とスタッフ10名の計38名で実施しました。



二つ池の薄くなった氷の上を歩い 凍った二つ池を歩いた

たり、マイウツド探しを楽しみました。拠点の六甲山小学校に戻って、豚汁サービスの昼食、午後はホダ木の虫探しに熱中しました。小学生の参加が少なく、幼稚園児の参加が大勢になったのが今回の特色でした。



ホダ木の虫探しに熱中

■2月11日に、「ひととはく・共生のひろば」で発表しました

2月11日(土)は、「第12回ひととはく・共生のひろば」でポスター発表をしました。今回のテーマは、六甲山上「まちっ子の森」と「アセビ伐採調査」としました。県立人と自然の博物館の研究紀要『人と自然』に当会の寄稿論文、「六甲山上における市民活動による アセビ伐採調査に関する報告」が掲載されるので、それに連動して、当会の14年間の森づくりへの取り組みを紹介しました。最近の傾向として、高校生の研究発表が目立ってきました。(※論文掲載の発行は4月初めになります)

■2月19日の「家族でぶらっと六甲散歩」は盛況でした

2月19日(日)は快晴で3℃。美野丘小学校同級生の3家族9名が参加し、スタッフ3名がお世話しました。ガイドハウスでのガイダンスのあと、まちっ子森に移動し凍った二つ池も楽しみました。そして散歩道を周回して記念碑台で昼食し、解散しました。六甲山の冬の終わりを堪能されました。



雪に覆われたまちっ子の森

■3月12日に鶴甲の「多世代交流事業」を支援しました

3月12日(日)に鶴甲ふれあいのまちづくり協議会と連携して、「多世代交流事業」を実施しました。マイクロバスで鶴甲を9時に出発して、20分で記念碑台に到着しました。木々の花芽を観察しながら、散歩道を散策し、まちっ子の森では枯れ葉の積もった森を歩く感触を味わいました。散歩道を周回して12時にガイドハウスに戻り、行楽日和に恵まれたことに感激されていました。



ツツジの花芽を観察

続いて六甲山地域福祉センターに移動して昼食後、「六甲山の豆知識」を聞いていただきました。その後、ご一行は別施設を見学して帰られました。

■3月19日に「家族でぶらっと六甲散歩」を実施しました

3月19日(日)は晴れで11℃と温かく、2名の母娘が参加され、スタッフ2名が加わって、散歩道を周回しました。クロミジの花芽は膨らんでいましたが、木々の開花時期は遅れ気味でした。冬のパークレンジャーに参加された娘さんも中学生になり、初めてのお母さんは興味旺盛で活動されていました。



アセビ伐採も体験
(文責:堂馬)



六環協ニュース 第53号

六甲山環境整備協議会 2017年5月31日発行

【6月～7月の環境整備活動の予定】

■6月は臨時活動4・5と定例整備3の3回を予定

6月は18日(日)の「まちっ子の森デー」で定例整備活動、7日(水)と28日(水)は臨時環境整備の計3回実施します。モリアオガエルの産卵活動も観察しながら、まちっ子の森の調査区でササ刈りなどを行います。

■7月は定例整備4と臨時活動5・6の3回を予定

7月は20日(日)の「まちっ子の森デー」で定例整備活動、2日(水)と23日(水)は臨時環境整備の計3回実施します。まちっ子の森の調査区で、環境測定や毎木調査をする予定です。

【6月～7月の活動予定】

■6月18日に、モリアオガエル観察会を開催します

6月18日(日)に恒例の「二つ池でモリアオガエルを調べよう!」を開催します。六甲山自然保護センターに10:00集合、15:00解散です。まちっ子の森を散策し、二つ池でモリアオガエルの卵塊を観察し、緑に覆われた森を楽しみます。



二つ池で卵塊を観察

■6月21日は、「六環協」総会を開催します

6月21日(水)18:00～19:30、六甲道勤労市民センター5B会議室で、六甲山環境整備協議会の第12期総会を開催します。当会の環境整備や調査活動について、活動報告や活動計画を協議します。

■6月24日(土)に第130回市民セミナーを開催

6月24日の第130回市民セミナーは、神戸都市問題研究所・理事長の新野 幸次郎さんに、「六甲山を市民のものに」をテーマにお話しいただきます。長年にわたって関わってこられた、神戸の魅力や震災後の復興、そして日本最大の森林都市の将来について、語っていただきます。



新野さん

■7月16日(日)は、「7月のまちっ子の森デー」

第3回目の「まちっ子の森デー」です。定例の環境整備活動、森の見学や自然体験、家族向け・シニア向けの「家族でぶらっと六甲散歩」のガイドなどを運営します。併催行事との調整しながら試行しています。灘区助成の「お久し振り! 六甲山」モニターツアーの開催も検討しています。「まちっ子の森」の一般開放という試みを軌道に乗せたいと考えています。

【4月～5月の環境整備活動】

■4月は定例整備と臨時活動1の2回を実施

4月の環境整備は5日(曇り、3名)、15日(曇り小雨、10名)の2回実施しました。4期にわたるアセビ伐採の追跡調査として、切り株の萌芽枝調査にも着手しました。萌芽枝の生え方に差があるので、区画を設定し追跡調査をします。



4/5 萌芽枝調査



4/15 小雨で萌芽枝調査

■5月は定例整備2と臨時活動2・3の3回を実施

5月の環境整備活動は、10日(曇り、4名)と31日(曇り、4名)の臨時整備2回に加えて、21日(曇り、6名)の3回実施しました。伐採アセビ切り株の萌芽枝調査を終えて追跡調査区を設定しました。実生新芽の追跡調査区も設定して、過去4年の調査札の状態を確認しました。



5/10 萌芽枝調査



5/31 実生の追跡調査



5/21 環境測定



5/21 調査区画の設定

【4月～5月の活動】

■4月15日に第129回市民セミナーを開催しました

4月15日(土)の午前中は8名が参加して、小雨の中でまちっ子の森でアセビ切り株の萌芽枝調査などを実施しました。午後からは県立自然保護センターで20名が、中瀬 勲講師の講演、「再び、六甲山の景観計画を考える」に参加しました。12年前の第26回市民セミナーの「六甲山の景観計画を考える」の続編です。ランドスケープの専門家の視点から、過去・現在・未来の地域整備を解説していただきました。



第129回市民セミナー



講師の中瀬 勲さん

■5月21日に、「六甲山を活用する会」総会を開催しました

5月21日(日)13:30～15:00、県立六甲山自然保護センターで第15期総会を開催しました。午前中は6名が、まちっ子の森で環境測定を実施しました。



「活用する会」第15期総会



「活用する会」第15期総会

総会には来賓4名と会員9名の13名が参加。平成28年度事業と決算報告、平成29年度事業計画・収支予算、役員改選などが議決・承認されました。(文責: 堂馬)

発行: 六甲山環境整備協議会・事務局(六甲山を活用する会)

〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-3-7 ワークスタイル研究所内 TEL: 050-3743-9897/FAX: 078-856-6616

E-mail: info@rokkosan-katsuyo.com http://www.rokkosan-katsuyo.com/

※大阪コミュニティ財団(東洋ゴムグループ環境保護基金)、神戸県民センター、コープこうべ環境基金、セブンイレブン記念財団、灘区役所、GGG国立・国定公園支援事業などの助成を受けています。



六環協ニュース 第54号

六甲山環境整備協議会 2017年7月31日発行

【8月～9月の環境整備活動の予定】

- 8月は臨時活動6・7と定例整備3の3回を予定
8月は20日(日)の「まちっ子の森デー」で定例整備活動、2日(水)と23日(水)は臨時環境整備の計3回実施します。アセビ伐採調査区でアセビ外の樹木の毎木調査などを行います。
- 9月は定例整備4と臨時活動8・9の3回を予定
9月は17日(日)の「まちっ子の森デー」で定例整備活動、6日(水)と20日(水)は臨時環境整備の計3回実施します。まちっ子の森の調査区で、環境測定や毎木調査をする予定です。

【8月～9月の活動予定】

- 8月19日に第131回市民セミナーを開催します

8月19日(土)の第131回市民セミナーは、六甲山の現代史を研究されている森地一夫さんに、10年ぶりに「六甲山開発史バージョン2」をお話しいただきます。ちょうど六甲山ホテルが阪急の経営でなくなり、1世紀近く続いていた六甲山の開発も転換期になりそうです。改めて開発史を見直してみます。



森地さん

- 8月20日は、「夏のパークレンジャー」を開催

2017年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」を8月20日(日)に開催します。六甲ケーブル下駅9:00集合、16:30解散で、六甲山小学校を拠点にして、「まちっ子の森」で夏の六甲山の自然体験します。アセビ伐採も試みます。



夏のパークレンジャー



トンボ観察会

- 9月17日は、「トンボ観察会」を開催します

「二つ池でトンボたちを探そう！」を9月17日(日)に開催します。神戸県民センター認定の環境学習プログラムです。自然保護センターに集合10:00、解散15:00です。「まちっ子の森」に出かけてトンボや水辺の生きものを観察します。六甲山の初秋も楽しめます。ご参加ください。

【6月～7月の環境整備活動】

- 6月は臨時活動2回を雨天中止、定例1回のみ実施

6月5日と28日に予定した環境整備5と6は雨天のため中止しました。6月24日(土)午前中の自然体験会を定例活動として、ササ刈りなどを実施しました。イベント清掃びかびか隊18名、神戸びかびか隊8名など30名が、散歩道モニターとササ刈りの2班に分かれて活動しました。天候は晴れ、森の気温は16℃でした。



まちっ子の森のササ刈り



シチダンカの植え込み

- 7月は臨時活動5・6の2回実施

7月の臨時整備5は8日に順延し2名で環境測定を実施しました。26日の臨時整備6は5名が参加して、調査区のアセビ外樹木の毎木調査の準備や実生新芽の追跡調査区の追加などを行いました。



追跡調査区を追加

【6月～7月の活動】

- 6月18日のモリアオガエル観察会は活況でした

6月18日(日)に恒例の「二つ池でモリアオガエルを調べよう！」を開催し、参加者46名、スタッフ8名の54名で賑わいました。期待した卵塊は下池で2個のみでしたが、木漏れ日の森で、樹木調べや森林浴など、ゆっくり時間を過ごしました。自然保護センター 二つ池で卵塊を観察に戻り次回の再会を期待して、15時に解散しました。



- 6月21日は、「六環協」総会を開催しました

6月21日(水)18:00～19:30、六甲道勤労市民センター5B会議室で、六甲山環境整備協議会の第12期総会を開催しました。関係者8名が参加して、平成18年度の活動報告を承認して、平成29年度の活動計画を協議しました。

- 6月24日に第130回市民セミナーを開催しました

6月24日(土)の第130回市民セミナーは38名が参加して、神戸都市問題研究所・理事長の新野 幸次郎さんに、「六甲山



自然保護センターの展望台に集合

を市民のものに」をテーマにお話しいただきました。長年にわたって関わってこられた、神戸の魅力や震災後の復興、そして日本最大の森林都市の将来について、熱意の溢れるお話に参加者は感動しました。

- 6月29日に、シルバーカレッジで講座を担当しました

6月29日(木)10:30～12:00、北区のしあわせの村にある神戸市シルバーカレッジで、堂馬が講座を担当しました。生活環境科約60名を前に、「六甲山を活用する会の活動」をお話しました。イベント清掃びかびか隊の方も出席されました。



シルバーカレッジ講座

- 7月11日に、山田の里グリーンクラブを見学しました

7月11日(火)に4名で、北区の山田の里グリーンクラブを訪ね見学しました。西本代表から、600坪の農園と600坪の雑木林での活動の様子を解説していただき、炎天下で農作業されていた8名の方とも意見交換しました。農作物のお土産もいただき、感謝！！ (文責:堂馬)



山田の里9名と交流会

発行:六甲山環境整備協議会・事務局(六甲山を活用する会)

〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-3-7 ワークスタイル研究所内 TEL:050-3743-9897/FAX:078-856-6616

E-mail:info@rokkosan-katsuyo.com http://www.rokkosan-katsuyo.com/

※大阪コミュニティ財団(東洋ゴムグループ環境保護基金)、神戸県民センター、コープこうべ環境基金、セブン-イレブン記念財団、灘区役所、GGG国立・国定公園支援事業などの助成を受けています。

【10月～11月の環境整備活動の予定】

- 10月は定例整備4、臨時14・15・16・17の5回を予定
10月は落葉前に毎木調査を実施する目的で、雨天の予備日を含めて、5回の活動を予定します。アセビ伐採調査区でアセビ以外の樹木を対象に、樹木別に樹種名を同定し、樹高・幹周りなどを測定します。樹木名の表示札も耐久性のあるものに付け替えることを考えています。
- 11月は定例整備5と臨時活動18・19の3回を予定
11月は毎木調査を続行し、終了できれば、まちっ子の森に説明パネルや標識を設置する予定です。見学コースを整備し、「アセビ伐採による森の再生活動」を案内できるようにしていきます。また、追跡調査のデータのとりまとめも予定します。

【10月～11月の活動予定】

- 10月15日に「お久し振り！六甲山」モニターを開催予定
10月15日(日)は灘区内のふれあいのまちづくり協議会の役員を募集対象にして、「お久し振り！六甲山」のモニターツアーを開催します。マイクロバスをチャーターして、最寄の集合場所を巡回します。山麓の市民に「六甲山頂・森と歴史の散歩道」を活用してもらう広報活動がねらいです。運動会や文化祭など行事に多忙な時期で、参加者を集めるのは一苦労です。



昨年の記念碑台での活動



成徳ふれまち協で説明

- 10月21日に第132回市民セミナーを開催します
10月21日(土)の第132回市民セミナーは最終回となります。講師は当会代表幹事の堂馬 英二で、テーマは「六甲山発郷土誌づくりの歩み」です。15年の「市民セミナー」の六甲山上での活動はいったん締めくくります。
多くの講師が紹介された内容を編集した報告書は、六甲山を丸ごと知るための貴重な情報です。新たに「六甲山発郷土誌」として多くの市民に向けて発信する取り組みもご紹介します。

六甲山魅力再発見市民セミナー

第132回(最終回) 六甲山発郷土誌づくりの歩み

【講師】堂馬 英二 どうま えいじ
六甲山を活用する会 代表幹事

【内容】●六甲山を活用する会の15年
●六甲山発郷土誌づくり
●六甲山発郷土誌を普及する

六甲山環境整備センターの施設を活用し、六甲山への関心を高める目的で「六甲山魅力再発見市民セミナー」を開催し、15年にわたって定例開催しています。「市民セミナー」から、周辺地域の発展につなげる活動も進められています。

プロフィール

【8月～9月の環境整備活動】

- 8月は臨時活動4回、定例1回を実施



定例活動に21名参加



森の見学コースを整備

8月の臨時環境整備活動は各回少人数ですが、2日、9日、16日、23日の4回実施しました。調査区で毎木調査の準備として、樹木に設置している標識札を点検補修しました。また、19日には14名が参加し、定例環境整備活動を実施し、まちっ子の森の見学コースなどのササ刈りをしました。

■9月は臨時活動11・12・13の3回実施

9月は6日5人、13日3人、27日(水)3人の3回、臨時環境整備を実施しました。作業内容は、アセビ伐採調査を追跡する毎木調査の準備に、樹木札を点検補修しています。手間のかかる作業でしたが、やっと終了。6日には保管していた伐採アセビを六甲山小学校の薪ストーブ用に提供しました。



薪用のアセビ材を搬出

【8月～9月の活動】

■8月19日に第131回市民セミナーを開催しました

8月19日(土)に第131回市民セミナーを参加者28名で開催しました。六甲山の現代史を研究されている森地一夫さんに、10年ぶりに「六甲山開発史バージョン2」をお願いしました。知られていないことが多い戦前・戦後の動向を、収集された新聞掲載記事や、資料を駆使して解説していただきました。
午前中に21名が自然散策に参加しましたが、六甲山の歴史を知って、山に関心を深めたと感心しきりでした。



第131回市民セミナー

■8月20日に「夏のパークレンジャー」を開催しました

8月20日(日)に、2017年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう!」を開催しました。参加者は子ども14名、大人10名、スタッフ6名の計30名。晴れで25℃、自然体験に絶好の天候です。六甲山小学校を拠点にして、まちっ子の森に出かけました。水生生物や森の樹木調べをして、アセビの伐採も初めて体験しました。



二つ池で生きもの調査



アセビ伐採も体験

■9月17日に「トンボ観察会」を開催しました

9月17日(日)予定の「二つ池でトンボたちを探そう!」は、台風18号の接近で中止24日に順延。参加者は7名減り20名、スタッフ6名の26名です。天候は曇りで森は18℃、快適でゆっくり活動できたと好評でした。(文責:堂馬)



二つ池で観察・調査

発行:六甲山環境整備協議会・事務局(六甲山を活用する会)

〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-3-7 ワークスタイル研究所内 TEL:050-3743-9897/FAX:078-856-6616

E-mail: info@rokkosan-katsuyo.com http://www.rokkosan-katsuyo.com/

※大阪コミュニティ財団(東洋ゴムグループ環境保護基金)、神戸県民センター、コープこうべ環境基金、セブン-イレブン記念財団、灘区役所、GGG国立・国定公園支援事業などの助成を受けています。



六環協ニュース 第56号

六甲山環境整備協議会 2017年11月30日発行

【12月～1月の環境整備活動の予定】

■12月は定例整備4、臨時17・18の3回を予定

落葉前に毎木調査を終える予定が遅れており、第2期～4期の調査区で一通り実施する予定です。被度調査は落葉のため中止し、他の調査項目を実施します。臨時整備は12月6日・20日(水)で、17日(日)の定例4は「まちっ子の森デー」と併催です。まちっ子の森に説明パネルや標識を設置する予定です。

■1月は定例整備5と臨時活動19・20の3回を予定

1月の臨時整備の予定は10日・25日(水)です。21日(日)の定例整備は、「冬のパークレンジャー」「まちっ子の森デー」と併催ですので、軽度の作業に限ります。

【12月～1月の活動予定】

■12月17日に「まちっ子の森デー」を開催します

12月17日(日)は月例の「まちっ子の森デー」を予定します。募集の広報が不十分なので、参加者が集まるかどうか心配です。参加者が少なければ、定例環境整備に注力します。「まちっ子の森デー」の月例開催を軌道に乗せるには、募集広報や運営について再検討が必要です。

■1月10日は「六環協・中間報告会」を開催します

10月10日(水)は18時から六甲山道勤労市民センターで、第12期「六甲山環境整備協議会・中間報告会」を開催します。「アセビ伐採調査」の追跡調査の進捗状況などを報告します。

■1月21日に「冬のパークレンジャー」を開催します

1月21日(日)に、恒例の2018冬の「六甲山子どもパークレンジャー」を目指そう！を開催します。今期の冬シーズンは例年よりも寒くなりそうで、久しぶりに雪や氷に出会えと期待しています。12月はじめに、灘区・東灘区・中央区の小学校や幼稚園に募集チラシを送付します。(申込み締切は1/12)



募集チラシ(一部)

【10月～11月の環境整備活動】

■10月は臨時整備活動13・14の2回のみ実施

10月は当初予定した3日が雨天などで中止し、日程を変更して実施しました。11日(水)は晴れで23℃、3名参加。18日(水)は晴れのち曇りで10℃と寒く、4名が参加。第1期調査区画と第2期調査区画の第1区画で毎木調査をしました。



毎木調査で幹周の測定



センター保管用具の運搬

■11月は臨時整備活動15・16の2回のみ実施

11月も定例整備を取りやめて、臨時2回を実施しました。1日(水)は晴れで12℃、黄葉が進む森に3名が参加し、第2期調査区画の第2区画で毎木調査を続行しました。落葉が進んでおり、被度の調査は難しくなっています。22日(水)は曇りで7℃無風で3名が参加し、12月から休館になる自然保護セン

ターで保管している用具を六甲山郵便局に移動しました。

【10月～11月の活動】

■10月7日に「下唐櫃シンポジウム」に参加しました

10月7日(土)に、兵庫県立大学主催の「下唐櫃シンポジウム」に1名が参加しました。当日は雨でしたが、10:30に有馬口に20名ほどが集合し、下唐櫃村が整備している伊勢講山(いせこうやま)を見学しました。午後からのシンポジウムには40名以上の参加で満席でした。三俣先生の司会で進行し、森づくりの活動事例を学びました。懇親会にも参加して、地域の実践家の方々と交流ができました。



整備された伊勢講山広場参加で満席でした。三俣先生の司会で進行し、森づくりの活動事例を学びました。懇親会にも参加して、地域の実践家の方々と交流ができました。

■10月15日に「お久しぶり！六甲山」モニター②を実施

10月15日(日)は「お久しぶり！六甲山」モニター②を実施しました。マイクロバスには、成徳4名・鶴甲6名の10名が乗車。記念碑台では辻コーディネーターにガイドハウスとセンターを解説していただきました。ガイドダンスの後、雨で肌寒い中を「散歩道」を周回してセンターに戻り、ストーブで暖を取りながら、意見交換しました。秋晴れの六甲山だったら、もっと感動されたと思いました。



まちっ子の森でクリ拾いでセンターに戻り、ストーブで暖を取りながら、意見交換しました。秋晴れの六甲山だったら、もっと感動されたと思いました。

■10月21日に第132回市民セミナーを開催しました

10月21日(土)に、第132回市民セミナーを開催しました。講師は当会代表幹事の堂馬 英二で、テーマは「六甲山発郷土誌づくりの歩み」です。15年続けた「市民セミナー」を今回で惜しまれながら終了しました。午前中の自然散策は雨天決行で24名が雨具を着けて参加しました。午後のセミナーには42名が参加しました。「市民セミナー」開催の前史や運営を踏まえて、「六甲山発郷土誌」の普及について取り組みを説明しました。終盤の質疑応答は、突っ込んだ質問や、郷土誌の活用策の提案などで賑わいました。



雨天の自然散策



満員のセミナー会場

■11月4日に「46億年地球の道」に参加しました

11月4日(土)に六甲山観光株式会社から「出張・46億年地球の道」をカンツリーハウスで開催しました。富良野から中西講師をお呼びし、新しい環境学習を体験する試みです。小雨の強風で、10数名の参加者に加わって、冬の六甲山で震えながら珍しい体験を楽しみました。



「地球の道」の解説(文責:堂馬 英二)

発行:六甲山環境整備協議会・事務局(六甲山を活用する会)

〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-3-7 ワークスタイル研究所内 TEL:050-3743-9897/FAX:078-856-6616

E-mail: info@rokkosan-katsuyo.com http://www.rokkosan-katsuyo.com/

※大阪コミュニティ財団(東洋ゴムグループ環境保護基金)、神戸県民センター、コープこうべ環境基金、セブン-イレブン記念財団、灘区役所、GGG国立・国定公園支援事業などの助成を受けています。

【2月～3月の環境整備活動の予定】

■2月は定例整備4、臨時22・23の3回を予定

六甲山には数度の寒波が襲来し、調査活動は難しくなっています。今期の毎木調査を終えていない、第3期～4期の調査区でも一通り実施する予定です。臨時整備は2月7日・21日(水)で、18日(日)の定例4は「まちっ子の森デー」と併催です。

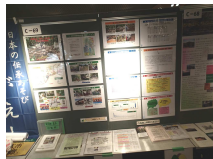
■3月は定例整備5と臨時活動24・25の3回を予定

3月の臨時整備の予定は7日・21日(水)です。18日(日)の定例整備は、「まちっ子の森デー」と併催で、樹木の花芽の観察ができます。整備は軽度の作業にします。

【2月～3月の活動予定】

■2月11日は「ひとくはく第13回共生のひろば」で発表

2月11日(日)、三田市の人と自然の博物館で開催される第13回共生のひろばでポスター発表をします。題目は「まちっ子の森」にいらっしやい！～再生の森で六甲山に親しもう～としました。当日の朝



昨年の発表

に展示して、昼はポスター前で解説、夕方には展示の撤去というあわただしさです。お手伝いいただける方がおられましたら歓迎です。ご連絡ください。

■2月18日に「まちっ子の森デー」を開催します

2月18日(日)は月例の「まちっ子の森デー」を予定します。参加者が集まれば冬の六甲山を散策します。参加者が無ければ、定例環境整備に注力します。

■3月12～26日、「六甲山知っとう！」展を開催します

平成29年度の「ひょうご県政 150 周年記念県民連携事業」の認定を受けましたので、『六甲山物語』1～5巻を図書館などに寄贈し「六甲山ライブラリー」の設置に役立てていただきます。その広報活動として、地元灘区の六甲道勤労市民センターで「六甲山知っとう！」パネル展(知っとう！は神戸弁です。無料)を開催します。

■3月21日、「六甲山知っとう！」展記念講演を開催します

3月21日(水・祝)は同センターで、14時～16時、記念講演(無料)を開催します。六甲山通の方を招いて、茶話会調の六甲山談義を賑やかにしたいと考えています。案内チラシは現在制作中で、近日中にHPにも掲載する予定です。

【12月～1月の環境整備活動】

■12月は臨時整備活動17・18・19の3回実施

12月は17日(日)の定例整備・「まちっ子の森デー」を中止しました。6日(水)は快晴で-3℃、4名参加。12日(水)は晴れ強風で1℃、3名が参加。20日(水)は快晴で1℃、3名が参加しました。落葉期でしたが、第1期調査区画と第2期調査区画の毎木調査を終了。また、年内の最終日は、調査ポイントの標識や案内用の垂れ幕を設置し、見学コースの整備をしました。



第2期調査区の毎木調査



まちっ子の森の垂れ幕を点検

■1月は臨時整備活動20・21の2回のみ実施

1月は「冬のパークレンジャー」を優先して定例整備を取りやめ、臨時2回を実施しました。10日(水)は晴れ一時雪で0℃、3名が参加。24日(水)は晴れで-5℃、今期一番の冷え込みで3名が参加しました。「まちっ子の森」の観察コースや散歩道の整備をするともに、「冬のパークレンジャー」の用具を六甲山郵便局と六甲山小学校の間で運搬しました。



用具をリヤカーで運搬

【12月～1月の活動】

■12月4日、「ひょうご県政 150 周年記念」助成に申請

平成29年度の「ひょうご県政 150 周年記念県民連携事業」の助成金を申請しました。六甲山も神戸開港以来 150 年の歴史があります。当会が集積した『六甲山物語』を図書館などに寄贈して、「六甲山ライブラリー」の設置や充実に役立ててもらうことをテーマにしました。

■1月10日に「六環協第12期中間報告会」を開催

1月10日(水) 18:00～19:50、六甲道勤労市民センターで「六甲山環境整備協議会第12期中間報告会」を開催しました。ひとくはく、神戸保護官事務所、県民センター、神戸ぴかぴか隊、当会から8名が出席。終了後も懇親会で活発に意見交換をしました。



六環協中間報告会

■1月21日の「冬のパークレンジャー」は賑わいました

1月21日(日)に、恒例の2018年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」を開催し、子ども20名、保護者18名、スタッフ13名の計51名が参加し賑わいました。当日朝は晴れで2℃と温かく、数日前の雪は消えて池の氷も溶けかけていました。六甲ケーブル下に集合し、六甲山小学校を拠点に、「まちっ子の森」で活動しました。昼食で豚汁を楽しみ、午後はホダ木の虫探しに熱中しました。期待した氷上体験はできませんでしたが、冬の風情を家族で探索できたと喜んでいました。



「まちっ子の森」の入口



二つ池の薄氷を調べる

■1月29日に『六甲山物語5』を印刷発注しました

「ひょうご県政 150 周年記念事業」の助成金が認定されたので、『六甲山物語5』の編集制作に着手しました。1月29日に印刷会社に400部を発注しました。ようやく「六甲山ライブラリー」の提案活動にエンジンがかかってきました。次は『六甲山物語1』の改訂増刷、さらにHPへの掲載準備、そしてパネル展示と記念講演の準備と課題が山積しています。

(文責: 堂馬 英二)

【4月～5月の環境整備活動の予定】

■4月は定例活動1、臨時整備1・2の3回を予定

新年度の4月はまだ森の植物の生育調査は早いので、環境測定や樹木の花芽の観察を楽しみながら、見学コースの整備などを行う予定です。15日(日)の定例環境整備1は、4月「まちっ子の森デー」、「お久しぶり！六甲山」モニターと併催です。

■5月は定例活動2と臨時整備3・4の3回を予定

5月の臨時整備の予定は9日・25日(水)です。20日(日)の定例整備は、「まちっ子の森デー」と併催で、午後は「六甲山を活用する会」の第15期総会です。樹木の花が満開になり六甲山のベストシーズンを楽しめま

【4月～5月の活動予定】

■4月15日は「お久しぶり！六甲山」モニター③を予定

4月15日(日)は灘区のふれあいのまちづくり協議会の役員を対象にして、第3回の「お久しぶり！六甲山」モニターツアーを開催する予定で、マイクロバスをチャーターしています。

■4月29日～5月11日に「活動紹介展」を開催します

平成30年の「ひょうご県政150周年記念県民連携事業」に申請する予定です。「六甲山ライブラリー」の提案をさらに進めて、一般市民に六甲山への関心を高めて、六甲山への上山を誘う目的で、「六甲山を活用する会・活動紹介展」を開催します。4月9日(日)～5月11日(金)、(六甲道勤労市民センター4階フロアで開催しますので、ご観覧ください。

■5月13日～20日は「六甲山ライブラリー」パネル展

記念碑台の六甲山自然保護センターはリニューアル中で、5月13日(日)に「六甲山ビジターセンター」と改称してオープンする予定です。図書コーナーが設けられるのに呼応して、「六甲山ライブラリー」パネル展の開催を企画しています。第1回は13日(日)～20日(日)を予定しています。

■5月27日は「お久しぶり！六甲山」モニター④を予定

平成30年度の灘区の「地域力を高める手づくりの活動・事業助成」に、「元気アップ！3」を申請する予定です。その活動として「お久しぶり！六甲山」モニターツアー④を六甲山のベストシーズンに合わせて実施する予定です。

【2月～3月の環境整備活動】

■2月は臨時整備22と定例活動4の2回

2月は寒さの厳しい日が多くなりました。7日(金)は晴れで-4℃、3名が参加し、雪の中での毎木調査は手がかじかんで記録するのに苦労しました。(右写真)

18日(日)の定例活動4は快晴で-1.5℃で3名が参加し、残置アセビを伐採し毎木調査を継続しました。



■3月は臨時整備23と定例活動5の2回実施

3月は「六甲山ライブラリー」に注力し、18日(日)の定例活動と28日(水)の臨時活動の2回の実施にとどまりました。18日は7℃で赤木ファミリー母子が参加し6名で毎木調査を楽しみながら実施し、所定の調査を終えました。本年最後の28日(水)は11℃と温かく、2名が参加し環境測定を行いました。



楽しみながらの毎木調査

【2月～3月の活動】

■2月11日は「第13回ひとはく共生のひろば」で発表

2月11日(日)は、三田市の県立人と自然の博物館が主催した「第13回共生のひろば」でポスター発表をしました。堂馬と阪東の2名で早朝から展示をして、終盤の懇親会まで丸1日参加しました。高校生の発表が活発になったという印象を受けました。



パネル展示が完了

■「ひょうご県政150周年記念事業」を推進

今期の新たな試みとして、「ひょうご県政150周年記念県民連携事業」の助成を受けて、1月から郷土誌の「六甲山ライブラリー」設置の支援をテーマに取り組みました。『六甲山物語5』の発刊、『六甲山物語1』の改訂・増刷、『六甲山物語4』の一部修正を行って、3月始めにシリーズ5巻を揃えることができ、地域の図書館などに寄贈について問い合わせをしました。

■3月2日に堂馬が「畑崎賞」を受賞しました

3月2日に畑崎財団から、堂馬が「第5回畑崎賞」の表彰を受けました。高齢者で元気に地域貢献する個人を表彰するもので、淡路島の野田さんと2人が対象です。皆様のご協力、今後の活動も期待されていると感じました。



■3月12日～26日で「六甲山知っとう！」展を開催しました

六甲道勤労市民センターで、3月12日(月)～26日(月)の2週間、「六甲山知っとう！」展を開催しました。「六甲山ライブラリー」の広報が目的で、『六甲山物語』シリーズの紹介や、それらをまとめて総合的に検索できる枠組みの「郷土誌マップ」も開設しました。通路の両側という狭いスペースでしたが、展示のテストのつもりで実施しました。推定で延べ300名が観覧されました。21日(水)の午後は記念懇話会として、市民セミナーの講師をはじめ13名が集まって六甲山談義を交わしました。



展示のパネルを鑑賞



記念懇話会で交流

■3月末に『六甲山物語』シリーズの寄贈を終えました

神戸市内外の公営図書館、大学・高校、生涯学習施設などに、「六甲山ライブラリー」の提案を同封して、『六甲山物語』シリーズ5巻の寄贈について希望を尋ねました。55箇所から希望があり、レターパックなどで梱包して郵便局から発送しました。総計318冊の寄贈を終えて、感謝の礼状なども届きました。充実感がありました。



(文責:堂馬 英二)